

IB

アイ・ビー

2019年10月17日[木] No. 2477

地域企業の繁栄をサポートする経営情報誌
企業特報 INFORMATION BANK

週2回(月・木曜日)発行 年間購読料150,000円(本体価格)
1996年4月10日 第三種郵便物認可 掲載記事二次転載不可

女性経営者特集

自衛隊と民間の架け橋として
さらなる活動の輪を広げたい

全国防衛協会連合会女性部会 会長
(株)三共 代表取締役社長

濱田 光江 氏

(株)インターナショナルエアアカデミー
代表取締役会長

永江 静加 氏

「行動力」と「謙虚さ」で運を引き寄せ
さらに世界に活躍の場を広げるパイオニア

Net IB News
注目記事

大戸屋HD、創業家と経営陣のお家騒動が終結
～創業者が最も留意すべきは相続税だ!

情報S.I.C
SECRET
INFORMATION
IN COMPANY

問われる労務戦略

(株)大島産業

大規模な店舗閉鎖を発表

— (株)オンワードホールディングス

- 企業公告
- アラーム・ワンポイント情報
- モルグ・カンパニー(破綻情報)
- 破産手続き開始リスト

「行動力」と「謙虚さ」で運を引き寄せ さらに世界に活躍の場を広げるパイオニア

(株)インターナショナルエアアカデミー 代表取締役会長 永江 静加 氏

空に魅せられ、21世紀、世界に羽ばたく若者を育てたいとCA育成の航空専門校を設立。当時はまだ珍しい女性経営者として苦労を重ねながら、企業として一步一步成長を遂げてきた。社長を退き会長となった今、さらに国際的な場で活躍し、世界を飛び続ける永江静加氏に話を聞いた。

COMPANY INFORMATION

代表:永江静加、永江理恵
所在地:福岡市中央区天神3-4-5
設立:1984年11月

最良のサービスの提供

—御社は35年間の社歴を誇りますが、そのように継続ができた大きな理由はなんでしょう。

永江会長(以下、永江) 私どもの経営理念は、「最大でもない、最強でもない、最良の学校」です。常に最良であることを意識しています。つまりは、学生にとって、お客さまにとって、それが最良であるかを常に念頭に置いて全員が行動しています。その「最良=お客さまに対しての信頼・信用」の積み重ねがあった

からこそ、ここまで継続できたのだと思います。

—就職内定率が200%とすごい数字を誇っていらっしゃるのですが、それが達成できる理由は何でしょう。

永江 こちらも先ほどの理念に通じるものがあります。これが最良のカリキュラムなのか、最良の講師が指導できているのかを常に考え、そのレベルを落とさないこと。そして、私たちは学生たちに夢をあきらめさせないのです。学生たちは自分の夢を叶えるために、当校に入学しているわけですから、合格させて当たり前、それで100%だと思います。

そして、弊社には世界中に航空会社のネットワークがあります。毎日各国の航空会社から求人情報が

入ってきます。内定をもらっている学生も、求人がきている会社を見て、さらに同時に何社もチャレンジをしている学生もいます。1社内定するのは当たり前、2社3社と内定をもらう学生もいます。昨年一番多い学生は7社内定をもらいました。ただ、彼女たちも最初から簡単に内定をもらえるわけではなくて、最初は何度も悔し涙を流しています。

受験の回数が一番多い学生は、200回目で内定をもらいました。当校で最多チャレンジの学生です。普通に考えると、199回チャレンジしてダメだったら、かなりの確率であきらめると思います。

この学生は、家族や友人から「もう向いていない、ほかにもいろいろ

な会社があるでしょう」と言われていたそうです。でも、私たちは、学生が夢を叶える、内定をもらえることを信じています。199回目内定がダメだった時も「次は受かるかもしれない!もしここであきらめたら後悔しない?」と聞きました。すると、学生は「もう一回やってみます!」と再びチャレンジをします。

実は、この学生が200回目で合格した時は、グランドスタッフとしての合格でした。しかし、グランドスタッフをしながらもキャビンアテンダントにチャレンジして、245回目で全日空のキャビンアテンダントに合格しました。この業界のマジックみたいなものがあって、一度飛行機に魅せられた人は夢をあきらめられないんです。一度あきらめて一般の仕事に就いた人でも、必ず戻ってきてチャレンジします。

—航空業界の魅力は何でしょう?

永江 単純なところでいえば空を飛べる、私の場合でいうと、世界を見たいと思いました。田舎町で育った私が、テレビを通して空の上で、飛行機のなかで仕事ができることを知りました。そして、普通に生活していたら会えないような方とお会いすることができる、そんな魅力もあります。「この業界見ずして死ぬことなかれ!」と私はセミナーなどで言っています。こんなにすばらしい仕事はありませんよ。

—最近、就職して3年以内に離職する人が30%ということなのですが、アカデミーを卒業して就職した人は長く続けていらっしゃるのか。

永江 CAという夢をもって就職しますので、別の航空会社に転職はしてもCAを辞める人は少ないです。大学生がとりあえずどこかの企

業に内定をもらうために面接に行くのとは違い、CAになるために当校に入学しますので目的がはっきりしています。そのため、簡単にはCAを辞めません。

メンターとして 人生の指針を教示

—御社の教育事業の70%は航空専門校としての事業、30%が社員教育、企業講演など人財育成事業とかがついています。人財育成をされるにあたって何を重視されていますか。

永江 私たちは航空業界で即戦力となる接遇を教育しますので、その接遇の研修を一般企業でも行っています。最高レベルの接遇が求められる企業からの依頼が多く、先ほどもお伝えしましたが最良の接遇をお教えしています。私たちは、営業をまったくしていませんが、口コミでご依頼をいただいています。

私どもの研修は、心の教育を重視しています。マニュアルではなく一社一社、1人ひとりの職種、役職に合った教育を行っています。最近、とくに、人間関係が複雑になってくることもあり、企業の担当者がお困りの心の問題にも積極的にアドバイスをしています。時には、会社側が社員に伝えにくいことを私たちが伝える役目も担います。

弊社の講座は、ご依頼いただいた企業の社員のメンターとなり、夢先案内人として、企業、社員を幸せに導くことが重要な使命だと考えています。

—魅力学を考案されていますが、本物の魅力とは何でしょうか。

永江 今もずっと研究し続けていますが、「謙虚」に勝る美しさはないと思っています。

弊社は大きな会社ではありませんが、社員はどの企業にも負けない自



創業者である永江静加会長

慢の社員たちです。弊社に入社してまず教育するのが「謙虚」であること。常に謙虚さをもって、1人ひとりの方と接することを大切にしています。

実は、起業したばかりのころの私は「福岡で初の女性経営者」として、男性に負けまいと必死に肩肘張っていた時期がありました。今から考えると恐ろしいのですが、私は人に会うときに、自分を大きくみせようと斜に構えた横柄な態度をしていたのです。当然ながら、まったく契約は取れず、経営は思うようにはいきませんでした。そして、うまくいかないことを周りや社会のせいにしていました。今考えると、原因は明確で、私は大きな勘違いをしていたことがわかります。でもそのころの私にはそんな余裕もなく、おろかなことですが3回「死」を考えたことがあります。

それが、私が変わるきっかけになりました。最後に死にたいと考えビルの屋上にいたときに、ふと天の音が聞こえたのです。「お前は何かまのつもりか!」と。

それからの私は、自然体で謙虚に人に接するようになり、契約がどんどん取れるようになりました。そのため、私が考える人の魅力は「謙虚



台湾での講演会の様子

しい学校であれば」と事務局から提携したいとおっしゃっていただきました。逆にハワイ大学事務局側で「どのように提携ができるか上司に掛け合ってみますよ、応援します!」と言ってくださいました。私が熱く夢の話をしていたので、その熱意が伝

わったようでした。

グローバルに広がる世界での活躍

「あなたがのおかげで人生が楽しくなった」とまで言っていただきました。トップダウンではなく、ボトムアップの話で、事務局のほうに熱心に動いてくださいました。

その日は、そこまでいったんは帰ったのですが、事務局側がすごく応援して下さったおかげで、とんとん拍子に話が進み、その後は非常にスムーズでした。3回目の面談では、すべての提携書にサインを交わしていました。

よく「成功の秘訣は何でしょうか」と聞かれますが、この時はたまたま事務局のトップが女性でタイミングも良かったと思います。全てはタイミングです。

とにかく、行動を起こしたのです。3回死のうと思った時のネガティブだった私はもういませんから。180度変わり、ポジティブに変わりました。学生のためならと、引き寄せるパワーが生まれたのかもしれませんが。夢は見るものではなく叶えるものだと思いますので。

さらに、ハワイで100年続くロータリークラブとも提携ができました。普通ではなかなか提携が難しい規模のクラブなのですが、それこそ何度もクラブへうかがい、いろいろな方へ働きかけた結果です。周りの方

からは、行動が違う、謙虚さが違うと言われました。

実は、ハワイ大学がハワイの行政へ働きかけてくださり、当校の学生をハワイ州のアンバサダーとして任命いただくことになりました。これも、大変ありがたい話として受け止めています。来年、私どもの学生が、ハワイですばらしい科学反応を見せてくれると思います。自身の成長のため、そしてハワイ大学、インターナショナルエアアカデミーにも良い影響を与えると確信しています。

提携の話でつながりますが、先週は台湾の航空大学と面談を行いました。その大学には、本物の航空機を4機も所有しているような学校です。

講演のきっかけは、最初にこの大学からエアラインについての講演をしてほしいと依頼をいただいたことでした。その講演で、私は「百聞は一見にしかず」と考え、全学生の姿勢を綺麗に整え大変身させたのです。それまでは、だらりとしていた学生たちも見違えるようになり、一瞬で聴く体制が変わりました。

それを目の当たりにし、先方から「御校のような学校とぜひ提携したい。これは普通の提携ではありませんよ」と仰っていただいたのです。11月の提携式の際には、台湾で記者会見を開いてくださるそうで、当校を台湾中に周知していただけることでした。

「ハワイでは『女神塾』を開講されているとのことですが、どのような内容でしょうか。」

永江 これは、魅力学です。現在、日本では東京と福岡で魅力学を開講しています。ハワイでは「女神塾」として定期的に開講しています。実は、ハワイで出会った方々が私を「女神」と呼んでくださって、そこからこの魅力学を「女神塾」と命

名して下さったのです。

というのも、ハワイでは「魅力学」と謳っても、ピンとこなかったようで、なかなか浸透しませんでした。そこで、現地の方が命名してくださいました。そして、この講座を受講くださる方々を「女神」と呼んで、女神たちが集まる講座となりました。

対象はハワイに移住して20~30年ほど経つ日本人女性です。長い間、ハワイで生活すると段々と日本のマナーや心配りなど日本人の良いところを忘れつつあります。日本人としての良さを忘れることなく、世界の人々に接してほしいと思い、この講座を開講しました。するとやはり、現地の方々もこんな講座を求めていたと、口コミで広がっていきました。講座は、一流のテーブルマナーからメンタルの部分まで、内面、外面磨き等、多岐にわたります。日本人女性としての誇りをもって、これから世界のステージに立ちましょとお伝えしています。

私自身、世界各地でいろいろな方とお会いするときに、日本人ということをおアピールしています。皆さまにもそのように世界の人に接してほしいと思っています。

受講生の中には、日本人のマナーを知らずに国際結婚でハワイに移住されている方が多く、一流の礼儀や作法をご存じない方がほとんどです。皆さま仕事をもっていらっしゃる、上は80代の方もいらっしゃいます。皆さまが「女神塾」を通して、さらに素晴らしい人生を送っていただくことを願っています。

活動の原動力となる家族と夢

「会長になられた今でも、精力的に活動をされていますが、その原

動力は何でしょうか。」

永江 この仕事が好きで、好奇心旺盛だということでしょうか。この世には知らないことが山ほどあって、興味をもつとそれをとことん追求してしまうのです。「LOVE IS POWER」だと思いますが、この仕事をすごく愛して、それが原動力になっています。やはり、好きだということがなければ、ここまでできないです。いろいろな人に会い、行ったことないところに行き、どんな話ができるのか、どのような景色が見られるのかが楽しみで飛び込んで行ってしまいます。人生は一回しかありませんから。

あとは、施設に入っている重度身体障がい者の実弟の存在でしょうか。夢を叶えたくても叶えられない彼の姿を見ているからかもしれません。私は五体満足で、やろうと思っただけでやれる、弟の分までやらなきゃということも原動力になっていると思います。

私は29歳の時に、21世紀を支える若者を育てたいという思いで起業しました。世界から見ると、日本は島国で狭い考え方の中で生活しているなど、少し恥ずかしく思うことがたくさんありました。世界の人々は、世界はつながっていると考え困っている人を助けます。当校にも世界の難民を助けたいと活動している学生がいます。休みを利用してカンボジアやインドへ行ってボランティア活動をしています。

日本の人口は減少していますが、世界では人口が増加し続けています。環境問題、食糧難、教育問題など恵まれない人々が多くいます。学生たちには、もっともっと世界を見



街頭での募金活動の様子

て欲しい、日本の代表だと思って誇りをもってチャレンジして欲しいと送り出しています。

「今後の展望はなんでしょうか。」

永江 私の夢は、航空会社をつくることです。そして、私がつくった航空会社が保有する飛行機に、弊社に関わったすべての人を乗せてテイクオフしたいというのが夢です。この夢は、ずっと持ち続けたいと思っています。

社長を退き会長になった今、また新たにさまざまなお役目をいただいています。その多くが世界規模、国際的なものなのです。ですから、これからもたくさんの人たちのパイオニアとして、世界をステージに私は飛び続けたいと思っています。

先月、国際女性商工会の理事として、韓国での世界大会に出席してきました。来年は、日本で世界大会が開催される予定です。また世界中の女性経営者の皆さまにお会いできると思うとワクワクします。どんな感動を与えられるか、プロジェクト始動です。今、私の年齢でできることは、これからの若い人たちのロールモデルとして、チャレンジし続けることだと考えています。世界の架け橋になることが永遠に持ち続ける私の夢です。

「死ぬまでチャレンジ!」

(鉄原 幸恵)